

# 経済統計：第3回中間試験

村澤 康友

2017 年 7 月 3 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
  - (a) 標本抽出
  - (b) 2 標本問題
  - (c) 推定
  - (d) 有限標本（小標本）特性
2. (30 点) 無作為標本の標本平均・標本分散について以下の問いに答えなさい。ただしすべての母数は未知とする。
  - (a) 「標本平均の平均は母平均に等しい」ことを証明しなさい。
  - (b) 「標本分散の平均は母分散に等しい」ことを証明しなさい。
  - (c) 「標本平均は母平均の最も良い推定量である」と言う場合の「最も良い」とはどういう意味か？
3. (50 点) F 大生の通学時間の母集団分布を  $N(50, 100)$  とする。無作為に選んだ F 大生 25 人の通学時間を  $(X_1, \dots, X_{25})$  とする。
  - (a) 標本和  $X_1 + \dots + X_{25}$  の分布を求めなさい。
  - (b) 標本平均  $\bar{X}$  の分布を求めなさい。
  - (c) (母平均を未知とした) 標本分散  $s^2$  の分布を示しなさい（証明不要）。
  - (d)  $\Pr[|\bar{X} - 50| \leq c] = .95$  となる  $c$  を求めなさい。
  - (e)  $\Pr[a < s^2 \leq b] = .95$  となる  $a, b$  を求めなさい。

## 解答例

### 1. 統計学の基本用語

(a) 母集団から標本を取り出すこと.

- 「全体」から「一部」を取り出す意味であれば OK.
- 「母集団 (全体)」と「標本 (一部)」のどちらか一方のみは 2 点.

(b) 標本を用いて 2 つの母集団を比較する問題.

- 比較の対象が母集団でなければ 0 点.

(c) 標本から母数を定めること.

- 「標本から」と「母数を定める」の両方がなければ 0 点.

(d) 推定量の厳密な分布に関する性質.

- 「推定量の性質」と明記しなければ 0 点.

### 2. 標本平均・標本分散の有限標本特性

(a) 母平均を  $\mu$ , 標本平均を  $\bar{X}$  とすると

$$\begin{aligned} E(\bar{X}) &= E\left(\frac{X_1 + \cdots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{E(X_1) + \cdots + E(X_n)}{n} \\ &= \frac{\mu + \cdots + \mu}{n} \\ &= \mu \end{aligned}$$

- 標本平均の定義で 5 点.

(b) 標本分散は

$$s^2 := \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2$$

母分散を  $\sigma^2$  として次式を示せばよい.

$$E\left(\sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2\right) = (n-1)\sigma^2$$

ここで

$$\begin{aligned} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2 &= \sum_{i=1}^n [(X_i - \mu) - (\bar{X} - \mu)]^2 \\ &= \sum_{i=1}^n \left[ (X_i - \mu)^2 - 2(X_i - \mu)(\bar{X} - \mu) + (\bar{X} - \mu)^2 \right] \\ &= \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 - 2 \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)(\bar{X} - \mu) + n(\bar{X} - \mu)^2 \\ &= \sum_{i=1}^n (X_i - \mu)^2 - n(\bar{X} - \mu)^2 \end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned} E\left(\sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2\right) &= \sum_{i=1}^n E((X_i - \mu)^2) - n E((\bar{X} - \mu)^2) \\ &= \sum_{i=1}^n \text{var}(X_i) - n \text{var}(\bar{X}) \\ &= n\sigma^2 - n \frac{\sigma^2}{n} \\ &= (n-1)\sigma^2 \end{aligned}$$

- 標本分散の定義で 5 点.

(c) 正規母集団なら不偏推定量の中で分散が最小.

- 「正規母集団なら漸近正規推定量の中で漸近分散が最小 (漸近有効)」でも OK.
- 「正規母集団なら」がなければ 5 点減.

### 3. 標本平均・標本分散の標本分布

(a)

$$\begin{aligned} E(X_1 + \cdots + X_{25}) &= E(X_1) + \cdots + E(X_{25}) \\ &= 25 \cdot 50 \\ &= 1250 \\ \text{var}(X_1 + \cdots + X_{25}) &= \text{var}(X_1) + \cdots + \text{var}(X_{25}) \\ &= 25 \cdot 100 \\ &= 2500 \end{aligned}$$

したがって  $X_1 + \cdots + X_{25} \sim N(1250, 2500)$ .

- 平均・分散のみは 5 点.

(b)

$$\begin{aligned} E(\bar{X}) &= E\left(\frac{X_1 + \cdots + X_{25}}{25}\right) \\ &= \frac{E(X_1 + \cdots + X_{25})}{25} \\ &= \frac{1250}{25} \\ &= 50 \\ \text{var}(\bar{X}) &= \text{var}\left(\frac{X_1 + \cdots + X_{25}}{25}\right) \\ &= \frac{\text{var}(X_1 + \cdots + X_{25})}{625} \\ &= \frac{2500}{625} \\ &= 4 \end{aligned}$$

したがって  $\bar{X} \sim N(50, 4)$ .

(c) 一般に  $(n-1)s^2/\sigma^2 \sim \chi^2(n-1)$  より

$$\frac{24s^2}{100} \sim \chi^2(24)$$

- $(n-1)s^2/\sigma^2 \sim \chi^2(n-1)$  で 5 点.

(d)

$$\begin{aligned}\Pr [|\bar{X} - 50| \leq c] &= \Pr [-c \leq \bar{X} - 50 \leq c] \\ &= \Pr \left[ -\frac{c}{2} \leq \frac{\bar{X} - 50}{2} \leq \frac{c}{2} \right] \\ &= .95\end{aligned}$$

したがって

$$Q\left(\frac{c}{2}\right) = .025$$

標準正規分布表より

$$\frac{c}{2} \approx 1.96$$

したがって  $c \approx 3.92$ .

(e)  $(24/100)s^2 \sim \chi^2(24)$  なので  $\chi^2$  分布表より

$$\Pr \left[ 12.4012 < \frac{24s^2}{100} \leq 39.3641 \right] = .95$$

または

$$\Pr \left[ \frac{1240.12}{24} < s^2 \leq \frac{3936.41}{24} \right] = .95$$

したがって  $(a, b) = (51.67, 164.02)$ .